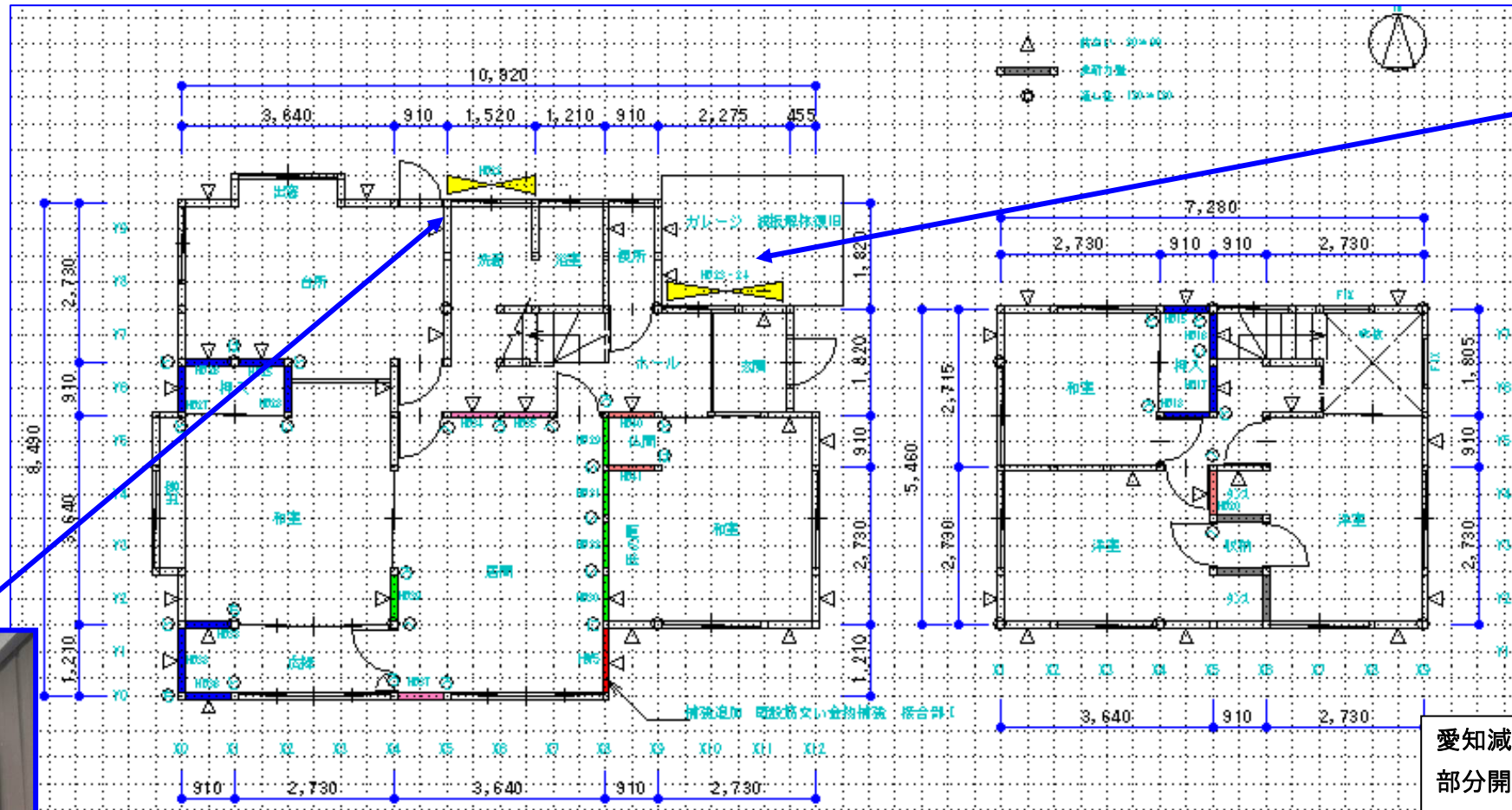


応募事例

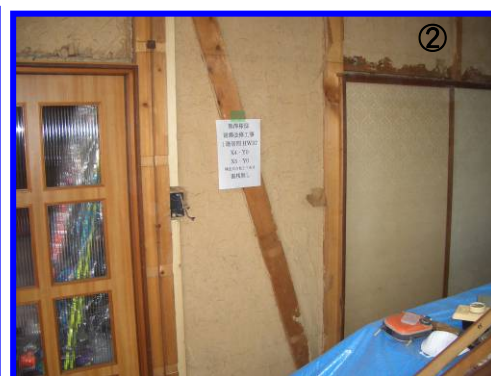
【工法の種類】 アイワン工法・部分開口
「真壁上下あき」「上下あき裏棧なし」

【応募者名】
日本住宅耐震補強（株）

建物概要	
建築年	昭和54年
階数	2階建て
1階面積	83.64㎡
2階面積	39.75㎡
延べ面積	123.39㎡
判定値	[施工前] 0.51 [施工後] 1.01
工事費	131万円
工事期間	2週間



外付けブレース工法 アイワン



愛知減災協議会の評価を受けている
部分開口構造用合板補強「真壁上下あき」工法
(写真①)は、改修コストを抑える上で非常に有効であるが、写真②のように施工側に既設の筋交いが存在すると使用できない。その際は少し耐力が落ちるが「上下あき 裏棧なし」工法(写真③)に変更すれば補強は可能となる。設計者がこうした知識を知っておくことは耐震改修では非常に重要である。
※ 現在「上下あき 裏棧なし」は大壁仕様しか認められていないが、入隅でも使えるよう受棧仕様を早期に評価してもらえれば、より改修コストの抑制が可能になると思う。